発問例

●三〇一ページ

問 **「学校で受けた歴史教育」（15行目）を通して、「私」は「歴史」に対してどう考えるようになったか。**

答 偉大なもの、立派なもの、おもしそうものはいつも過去にあり、新しいものはつまらないものに決まっていると考えるようになった。

補 「幼い」頃の筆者の「歴史」認識は、歴史とは遠い過去の出来事であって、生きている「現在」の自分がけっして触れられない、関係がないというものだった。

●三〇二ページ

問 **◉父母や祖父母のたとえから、筆者は距離感と立派さの関係をどのように捉えていることが分かるか。**

答 人々にとって距離が遠く、想像が及ばないものほど偉大に感じられ、敬われると捉えている。

語句の研究

●三〇一ページ

3単純な少年　従来の考え方やとらえ方が一面的で浅かったと語ることで、「今」の「わたし」がそうではないことが示唆されている。

●三〇二ページ

キー・ポイント　**「現在」**　「現在」とは、過去と未来の間、過去から未来へと移り行く今、あるいは、近い過去や未来を含む今を表す概念である。「現在」が近い「未来」と近い「過去」とをあわせ持つと考えるとすれば、「現在」の自分自身も当然「歴史」の一部として参加しているということになる。

3「現代」　①現在の世。今の世。当世。②歴史の時代区分の一つ。日本では第二次世界大戦終結後の時代。広義には明治維新以後をさすこともある。東洋史では辛亥革命以後の時代。西洋史では第一次世界大戦終結後の時代。「歴史」「過去」に対するものとして、「　」を付して用いている。

注意する語句

（＊で用例を示した）

加速度的…程度がぐんぐん増すさま。
＊加速度的に物価が高騰している。

さびれる…盛んだったものの活気が無くなって衰える。ひっそりして寂しくなる。
＊さびれた商店街を通る。

老いさらばえる…年を取って醜くなる。老衰する。老いさらぼう。
＊老いさらばえて見る影もない。

不可逆的…取り返しがつかないさま。再び元の状態には戻れないさま。
＊歴史というのは、不可逆的なものだ。